

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和 6 年 6 月 2 0 日 (木)		
事業名	千葉県公民館等職員研修		
趣 旨	各市町村の公民館職員等の、主に経験の浅い担当者を対象に公民館職員として必要な知識や求められる役割等についての理解を深め、その資質向上を図る。		
会 場	千葉市生涯学習センター (千葉市中央区弁天 3 - 7 - 7)		
対 象	公民館職員、社会教育施設職員、社会教育・生涯学習関係職員等		
申込方法	W e b 申込み		
募集定員	5 0 名	募集期間	令和 6 年 4 月 2 6 日から令和 6 年 6 月 6 日
参加者数	対面 2 1 名 オンライン 2 2 名	参加費用	
講師 等	栃木県立真岡工業高等学校 校長 井上 昌幸 氏 (前栃木県総合教育センター生涯学習部長)		
実施内容	共催：千葉県公民館連絡協議会 公民館及び公民館職員の役割や公民館職員に期待することについて対面及びオンラインでの講座。		
参加者アンケート	<p>【満足度 1 0 0 %】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館職員としての取組チェックをいただけたことで、これからの目標が可視化できた。学校は地域との連携に対してプラス感情を持っていると分かったので、積極的にお声掛けしていきたい。 ・自館の具体的な課題が見えた。課題を解決するための考え方や地域の方々の導き方など具体的に示していただきながらの説明だったので、よく理解できた。 ・順序立てて体系的に教えていただき、公民館に今求められていることの全体像がよくわかった。日常業務を振り返ることと、全体を俯瞰して見ること両方の視点を日頃から持ちたいと思う。 ・オンラインでの開催もあり、参加しやすくてよかった。 		
担当者の所感	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の趣旨である「公民館職員として必要な知識、求められる役割等の理解」については、参加者アンケート結果から、「理解できた」「ほぼ理解できた」割合が 1 0 0 %であった。講座内容の充実や講師の話し方が分かりやすかったことが要因であると考え。 ・講師については、文部科学省、国立教育政策研究所社会教育実践研究センター等で、長年に渡り社会教育・生涯学習に携わってきた経験から、参加者が自分事として捉えることができる事象を取り上げながら講義を進めていた。すぐに実践す 		

ることができる内容に満足する受講者も多かった。

- ・実施形式については、対面とオンライン（Zoom）でのハイブリット形式で行った。参加者は、ニーズに合わせて形式を選択できたため満足度が高かったと考える。
- ・対面では、参加者同士の関わりを大切に、グループワークを実施した。他公民館での様子や取組を知ることができ、有意義であった。

【課題】

- ・講座内容と講師の選定については、例年、悩む点である。アンケート結果を参考にし、参加者が求める内容を加味したうえで必要な知識等を身に付けられるように講座を企画していきたい。
- ・講座形式については、対面とオンラインのハイブリット形式で行うのが良いと考える。運営上、特にオンライン受講の参加者に対してのグループワーク等での配慮が必要不可欠となるため、職員の役割分担を適切にしたい。
- ・会場については、千葉市生涯学習センターで実施しているが、当所で行う講座についてもオンラインによる配信について円滑に進められるよう、機材の準備や事前の試行を重ねていきたい。